

の流れがれん痕から推定されます。

2) スランブ構造(層内しゅう曲)

地層がグニャーと曲がっているが、注意して観察すると、このグニャーと曲がった地層と、それをはさむ上と下の地層は水平地層でうねっていません。不思議な地層ですね。

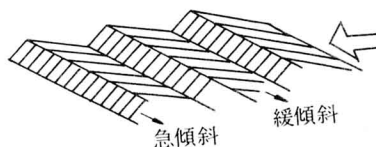
このような構造はスランピング(層内しゅう曲)と呼ばれており、新第三紀の地層に見かけます。これは湖底や海底の傾斜面にたい積した泥が、まだ固まらないうちに動かされ(小規模な地すべり)たため、泥層がうねってできた模様です。

このようなスランブ構造の見られる地層の多くは、粘土質の岩質からできています。

3) プル・アパート

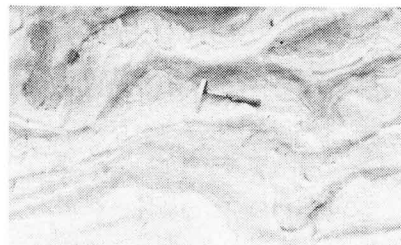
層埋面に沿って、泥岩のブロックが、ダンゴの串さしのようにちぎれて所々に並んで入っている構造を、プル・アパートといいます。

この構造は、湖底や海底につもった泥が、固まらないうちにすべり、ちぎれてブロッ

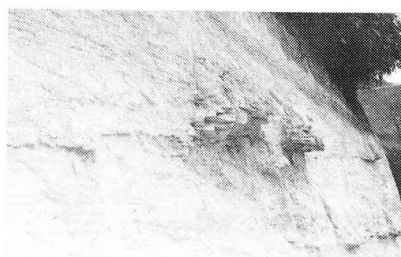


こんなに地層が曲がっている。

福島市飯坂町円部(鮮新統)



いわき市豊間海岸(中新統)



福島市飯坂町赤川(鮮新統)